

高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（仮称）基本計画の概要

新施設の理念

壁画を守り
未来に伝える

飛鳥地方の
風土や歴史を
理解する

文化観光に
資する

新施設の目的

- 古墳壁画・石室石材を保存・修理・メンテナンスし、将来に向けて継承
- 飛鳥地方の歴史や風土、特別史跡の価値、国際交流の歴史等を踏まえながら古墳壁画・石室石材の価値や魅力を調査研究、発信
- 飛鳥地方の導入拠点として、地域を巡るための必要な情報を提供

施設計画、敷地計画

- 現在の国営飛鳥歴史公園館周辺に、公園館と一体的整備により、飛鳥周遊のゲートウェイ施設としての機能を備える
- 国営飛鳥歴史公園の公園施設としてふさわしい事業を展開できる施設とする
- 明日香村の歴史的風土の維持を図り、公園や周辺環境との調和を重視した外観デザイン

新施設の主要な諸室

古墳壁画・石室石材の 保存・修理・メンテナンス

壁画・石室石材保存管理室

壁画等を最適な温湿度・空気質環境で安全に保管する「壁画保管区画」と、来訪者が壁画等を鑑賞する「観覧区画」で構成

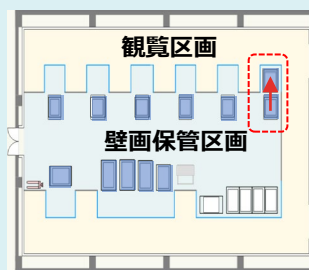
メンテナンス準備・整理室

壁画等のメンテナンスや調査の準備、記録、整理、分析作業を行う

収蔵庫

高松塚古墳から出土した資料等を保管

壁画・石室石材保存管理室 （観覧区画） 壁画を鑑賞



公開時は、壁画を壁画保管区画の観覧区画側の凸部のガラスケース内に移動

新施設の事業活動計画

展示、教育・普及

【展示展開の3つのテーマ】

- 飛鳥地方への周遊を促進する
- 高松塚古墳・古墳壁画をより深く知る
- 古墳や古墳壁画に関する多様なテーマを掘り下げ

ガイダンス展示※

展示室、企画展示コーナー

学芸活動、人材育成、
国内外のネットワーク構築、
情報発信

ホール

ワークショップルーム※

来館者サービス※
ミュージアムショップ

※国営飛鳥歴史公園館と一体的に整備

展示室

常設展示A
高松塚古墳壁画の世界

常設展示B
高松塚古墳・
壁画の
保存の歴史

常設展示C
高松塚古墳
の技術

企画展示
コーナー
調査研究の
成果を展示

ガイダンス展示※

国営飛鳥歴史
公園案内
飛鳥地方の
歴史等ガイダンス

来訪者

運営・組織

- 充実した事業活動を展開し続けられるよう、民間資金の効果的な導入等も視野に入れつつ、新施設を取り巻く状況を鑑みて適切な運営方式を検討
- これまで培った知見と最先端の技術を活かして壁画等の保存管理を行うとともに、壁画の保存・活用に関する調査・研究等を担う専門機関や組織と連携
- 学芸活動に必要な幅広い専門分野については外部の専門家と連携

今後のスケジュール、留意事項

- 令和11年度までに新施設の供用開始を目指し、国土交通省における国営飛鳥歴史公園館の施設再整備の取り組みと連携・調整を図りながら推進
- 引き続き、壁画・石室石材への振動の影響を抑える工事の工法等を検討